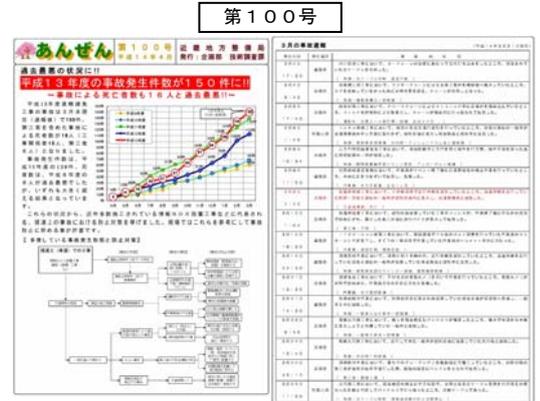


# ニュースレター「あんぜん」が200号に達しました。

- ・ニュースレター「あんぜん」は、平成5年9月より発行し、今回で第200号となりました。
- ・これからも、ニュースレター「あんぜん」を事故防止に役立ててください。
- ・また、バックナンバーはホームページ上 (<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/gicyo/anzen/index.html>) で公開していますので、過去に発生している事故も確認し、類似の事故が発生しないよう気をつけてください。



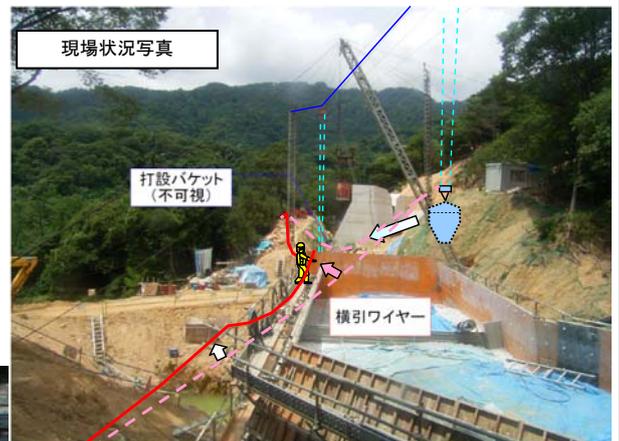
## ケーブルクレーンの横引きワイヤーが作業員に接触し、足場から転落

### <事故概要>

- ・堰堤のコンクリート打設作業において、ケーブルクレーンの横引きワイヤーがコンクリートバケットの移動に伴って足場側に移動してきた際、足場上にいた作業員が横引きワイヤーに押し出されて転落した。

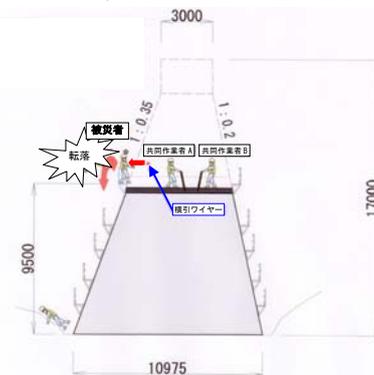
### <事故原因>

- ・作業員が立入禁止区域に進入したこと。
- ・朝礼で立入禁止の指示をしたにも係わらず、立入禁止の明示が行われていなかったこと。



### <事故防止対策案>

- ・作業員に対して、指示事項の遵守を徹底する。
- ・立入禁止区域の明示を行う。
- ・作業員間において連携を図る。



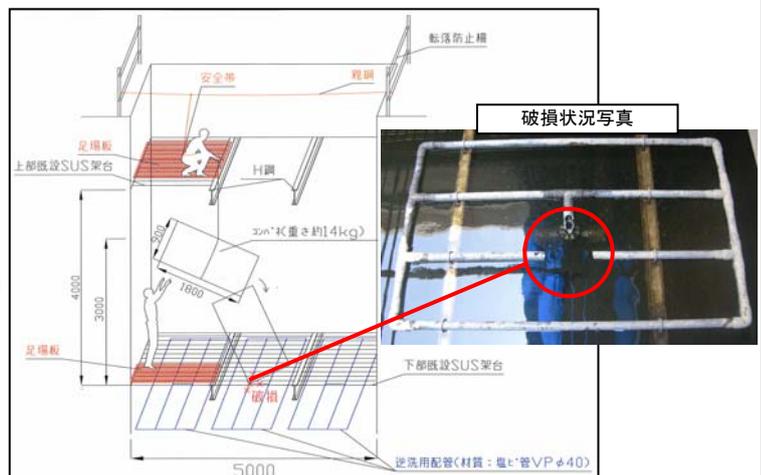
## 吊り下げていたコンパネが落下し、配管を破損

### <事故概要>

- ・上部架台より、下部足場のためのコンパネをロープにより人力で吊り下げていたが、ロープが外れてコンパネが落下し、下部架台下の逆洗用配管を破損した。

### <事故原因>

- ・ロープの締め付けが不足していた。
- ・ロープでの締め付け具合の確認が甘かった。



破損状況写真



### <事故防止対策案>

- ・吊り下げる前にロープの締め付け具合を確実に確認する。

(裏面につづく)

# 近畿管内で発生した熱中症事例について

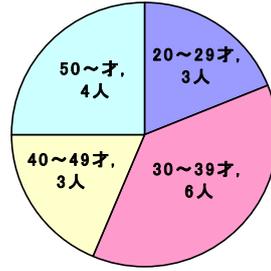
- ・今年度は厳しい暑さが続いており、近畿管内の現場各地で熱中症が発生しています。
- ・例年をはるかに上回る件数（8月26日現在で16件：熱中症が疑われるケースも含む）となっています。
- ・熱中症により、休業を伴う事案が5件となっています。
- ・事業者として、快適な作業環境を確保するため、現場での熱中症対策を十分に行いましょう。

## 参考（安衛則第617条）

事業者は、多量の発汗を伴う作業場においては、労働者に与えるために、塩及び飲料水を備えなければならない。

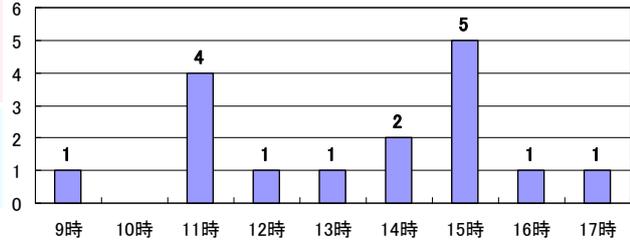
## <熱中症対策事例>

- ・休憩所に扇風機、エアコン、製氷機や給水設備等を設置。
- ・作業場所に日よけシート、パラソル、ミスト付扇風機等の設置。
- ・熱中飴、スポーツドリンク、経口保水液の常備。
- ・朝礼、KY等にて熱中症についての注意喚起の実施。



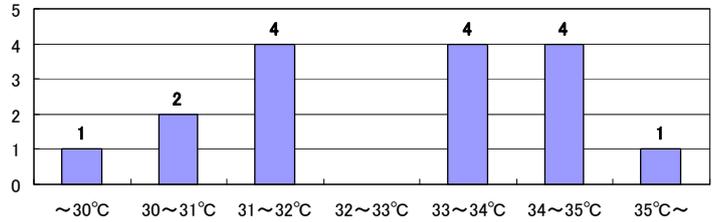
・30~39才の人の発症が6件と最も多くなっています。

年齢別熱中症発症人数 (平成22年度 8月26日現在)



・11時台と15時台に最も多くなっています。

時間別熱中症発生件数 (平成22年度 8月26日現在)



気温別熱中症発生件数 (平成22年度 8月26日現在)

・30℃を超えたら、熱中症の発生に特に気をつけるようにして下さい。

**厳しい残暑が予想されます。暑さのピークを過ぎても、熱中症対策には万全を期すよう心がけてください。**

## 近畿管内の前期安全協議会に延べ1650名参加

- 前期（6月～8月期間）の工事安全協議会が、近畿管内15会場で開催されました。所管警察署及び労働基準監督署等から講師を招き、請負者（現場代理人・監理技術者）、発注者（監督職員、現場技術員等）延べ1650名の参加の下、工事の安全対策に関する情報の共有と安全に対する意識の向上が図られました。



京都国道事務所



和歌山河川国道事務所



滋賀国道事務所  
琵琶湖河川事務所  
大戸川ダム工事事務所



淀川河川事務所  
猪名川河川事務所  
淀川ダム統管理事務所



姫路河川国道事務所



大和川河川事務所  
紀の川ダム統管理事務所